

愛西市シティプロモーション伴走支援業務委託公募型プロポーザル審査講評

愛西市シティプロモーション伴走支援業務委託特定審査会

会長 清水 栄利子

1. 選定経緯

令和8年4月14日に愛西市企画政策部長より8名に対して本プロポーザルの特定審査会委員の依頼があり、その後、2回にわたる特定審査会で審議を行い、受託候補者を特定した。

(特定審査会委員)

会 長	清水 栄利子	愛西市副市長
委 員	大森 知孝	愛西市企画政策部参事
委 員	坪井 靖史	愛西市教育部学校教育課長
委 員	大関 泰夫	愛西市市民協働部市民協働課課長補佐
委 員	神田 真愛	愛西市健康子ども部子育て支援課主査
委 員	東山 祐佳	愛西市企画政策部経営企画課主査
委 員	佐藤 祐太	愛西市総務部財政課主任
委 員	本多 成美	愛西市産業建設部産業振興課主事

(事務局)

愛西市企画政策部シティプロモーション課

(1) 第1回特定審査会（令和8年4月20日）

第1回特定審査会では、委員の互選により、清水栄利子委員が会長に選出された。その後、愛西市シティプロモーション伴走支援業務委託公募型プロポーザル実施要領（案）等及び今後の特定審査会スケジュールについて審議した。

(2) 第1次審査（書類審査）（令和8年6月24日）

提出された4者の参加申込書等により参加資格要件について審議し、その結果、第2次審査参加者として3者選定した。また、①業務体制、②経営状況、③会社の業務実績の3点について第1次審査を行った。審査方法は、評価基準に従ってあらかじめ事務局が採点した結果について、これを了承した。

(3) 第2次審査（プレゼンテーション及びヒアリング）及び第2回特定審査会（令和8年7月28日）

非公開の場において、選定した3者による個別プレゼンテーション及びヒアリングを実施した。終了後、業務提案書の内容とプレゼンテーション及びヒアリングの総合評価による第2次審査を行い、各審査委員が最終的な評価をし、集計を行った。なお、業務提案書のうち見積額については、評価基準に従って

あらかじめ事務局が採点した結果について、これを了承した。

集計結果に第1次審査の採点を加点した結果をもとに最終的な審議を行い、最高得点の者（B者）を最優秀者として特定し、次位の者（C者）を次点者とした。

2. 選定講評

第1次審査では、本プロポーザルに参加する資格要件について審議するとともに、会社の経営状況や業務実績について評価し、第2次審査では、提出された業務提案書をもとに、個別プレゼンテーションを実施するとともに、業務提案に対するヒアリングを実施した。

参加した3者の業務提案は、いずれも本プロポーザル実施要領及び仕様書に沿っており、プレゼンテーション及びヒアリングでは、明確な説明と質疑応答がなされていた。既存の地域資源からニュース価値を見だしメディアの取材誘致へつなげる効果的な手法があげられ、3年間で庁舎内外に広報パーソンを育成し、段階的に市の自走化を目指すロードマップを示し、SNSを活用した市民・事業者参加型の広報の仕組みづくりについて、具体的な提案として説明があった。

プレゼンテーション及びヒアリングを通した委員の評価の結果、第1次審査結果との総合点で、最高得点者であるB者を最優秀者として特定することとなった。

非常に多岐に渡る仕様書であったにもかかわらず、プレゼンテーション及びヒアリングは円滑に行われ、真摯かつ意欲的な姿勢と、豊富な実績と技術力をもって愛西市のために貴重な提案を示していただいた3者に対して、審査委員一同敬意を表する。